

科目名	英語コミュニケーション I	学科・学年・学級	普通科・1学年・全クラス
		単位数	4単位（週4時間）
使用教科書・副教材等		[教科書] FLEX ENGLISH COMMUNICATION I（増進堂） [副教材] 文法参考書等	

### 1 学習目標

- 日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり、書いたりして伝える基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を培うことを目指します。
- 聞くこと、読むこと、話すこと（やりとり）、話すこと（発表）、書くことの5領域の言語活動を総合的に行うことにより、英語による実践的コミュニケーション能力の向上を図ります。

### 2 学習方法

- 英語を聞いたり読んだりして、情報や話し手・書き手の意向などを理解したり、概要や要点を捉える練習をします。
- 聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、話し合ったり、意見の交換をしたり、また整理して書いたりする練習をします。
- リズムやイントネーションなど英語の音声的な特徴に注意しながら発音の練習をするとともに、まとまりのある文章を音読したり暗唱したりして、英語の文章の流れに慣れていきます。
- コミュニケーション活動に必要な基本的な文型や文法事項などを理解し、活用できるよう練習をします。

### 3 学習評価

#### (1) 評価の観点・趣旨・方法

観点	趣旨	評価の方法
知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解しているか。日常的な話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解しているか。 外国語についての知識を、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の発表等の観察</li> <li>・定期考査、課題テスト</li> <li>・授業時の小テスト</li> </ul>
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりしているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習状況の観察</li> <li>・定期考査、課題テスト</li> <li>・授業時の小テスト</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習状況の観察</li> <li>・定期考査、課題テスト</li> <li>・授業時の小テスト</li> </ul>

#### (2) 各学期及び学年末の評価

各学期の評価は、定期考査、課題テスト、単熟語テスト等の成績、ノートや課題等の提出状況と内容、授業態度・出席状況等を総合して行います。

学年末の評価は、1・2・3学期の評価を平均することにより行います。

### 4 学習のポイント

- 予習、授業、復習の学習サイクルを確立し、地道に継続して基本をしっかり身に付けましょう。
- 「聞く、話す、読む、書く」の4領域のバランスをとって学習しましょう。
- まず教科書の英文をマスターしましょう。英語をしっかりと身に付け、実際に使えるようになるためには、一つの題材について、内容を推測しながらの黙読、辞書を引きながらの精読や和訳、英訳、音読、リスニングなど様々な方法で繰り返しアプローチすることが大切です。

5 学習計画（予定）

※コミュニケーション活動の基礎となる文法の学習計画については、別途連絡します。

月	学習項目	学習のねらい・活動
4	「英語 I」の学習方法 Lesson 1 How Can We Become Stronger? (中間考査)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校での英語の学習の仕方を確認する。</li> <li>・松岡修造氏の金言に込められた思いを読み取った上で、自分なりのフレーズを考え、そこに込めた思いを説明したり書いたりする。</li> <li>・助動詞/to不定詞</li> </ul>
5	Lesson 2 The Jar of Life	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教授が学生たちに見せたジャーの実験について、その中の泥、砂、石が何を意味しているかを読み取った上で、自分にとっての泥、砂、石がそれぞれ何かを考え、グループで共有する。</li> <li>・動名詞/間接疑問文</li> </ul>
6	Lesson 3 It's Always Sunny in Space! (期末考査)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギー問題に対する現在の対策やJAXAの計画、またその問題点を読み取った上で、宇宙開発が与える良い影響、悪い影響の両方についてグループで話し合ったり、その内容を発表したりする。</li> <li>・後置修飾/現在完了形</li> </ul>
7	Lesson 4 Malala: Fighting for Women's Rights	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マララの半生を踏まえ、彼女がスピーチで語ったことの意味を理解した上で、「教育が唯一の解決策である」という言説に対して自分なりの意見を発表する。</li> <li>・関係代名詞/過去完了形</li> </ul>
8	(課題テスト)	
9	Lesson 5 Mount Fuji	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士山とはどのような山か、また富士山が世界文化遺産に登録された理由を読み取った上で、世界遺産を一つ選び、その価値や魅力について発表する。</li> <li>・使役動詞/節を導く形式主語it</li> </ul>
10	Lesson 6 Thomas the Tank Engine and SDGs (中間考査)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『きかんしゃトーマス』という作品にSDGsが取り入れられた流れやその意義を理解した上で、SDGsの17のゴールから一つを選び、それに関連したスキットを作成し、グループで演じる。</li> <li>・関係代名詞what/強調構文It...that</li> </ul>
11	Lesson 7 Virtual Water	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本が仮想水を多く使用している背景や、日本の食生活の変化や食料廃棄と水問題との関係を理解した上で、自宅での水の使用量を減らす方法を検討し、ペアやグループで考えを共有する。</li> <li>・関係代名詞の非制限用法/関係副詞</li> </ul>
12	Lesson 8 Wearable Robots May Change Our Life (期末考査) (課題テスト)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山海教授が開発したロボットがどのような分野で活躍しているか、また山海教授がどのような信念を持ってロボット研究に勤しんでいるかを読み取った上で、自分のオリジナルのロボットを考案し、メリットやデメリットに触れながら発表する。</li> <li>・仮定法過去/仮定法過去完了</li> </ul>
1	Lesson 9 Biomimicry — Inspired by Nature	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バイオミミクリーとは何か、また自然界のものを使うメリットは何かを読み取った上で、バイオミミクリーによってどんな製品を生み出すことができるか検討し、グループで共有する。</li> <li>・知覚動詞/分詞構文</li> </ul>
2	Lesson 10 Donald Keene and His Love of Japan (学年末考査)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドナルド・キーンとはどのような人物か、また彼が日本文学を世界にどのように広めたかを読み取り、物語の感想文の構成を理解した上で、自分のお気に入りの作品について、クラスで共有する。</li> <li>・前置詞+関係代名詞/複合関係代名詞</li> </ul>
3	分野別Hot Topics	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な分野の重要な話題の基礎知識を身に付けさせる。</li> </ul>